

2024 第2回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【英語】

今回は、夏休み後の学習の習熟度を試す問題です。ジャンル、形式の異なる長文3題と客観文法問題4題で、総合力を問う出題になっています。

1 長文読解問題1 (物語文)

1人の少年が1本のリンゴの木との触れ合いにおいて、木から様々な援助を受けながら一生を生きていく姿を描いた物語文です。問2と問5の整序英作文は、いずれも名詞を後ろから修飾する形容詞的用法の不定詞の文にすることがポイントです。問3の和訳で、文中の動詞took(take)の訳し方は2通りあります。「～するのに…時間がかかった」と訳す、あるいは「時間をかけて～した」と訳します。解答例は後者の訳になっています。問6の適語補充は、「～のような[に]」という意味の前置詞 like が正解ですが、この前置詞 like はよく用いられるので、覚えておきましょう。問7の内容把握は、before it's too late の意味を「遅すぎる前に→手遅れにならないうちに」とすることが正解を選ぶポイントになります。

2 長文読解問題2 (説明文)

意思疎通の手段の1つである「身振り手振り、ジェスチャー」に関する文です。問1の適語補充で、正解の language 「言語」はつづりを間違えやすいので、しっかり覚えましょう。問5の内容説明は、直前の(Some Japanese) bow when they are shaking hands 「(一部の日本人は)握手をしている時にお辞儀をする」の部分をまとめますが、「握手」、「お辞儀」の2つの言葉は必須になります。問8の適語選択は、空所7を含む部分が「必ずしも同じ意味を持つわけではない」となるように、エの same を選びます。この時 not always～は部分否定の意味になります。

3 長文読解問題3 (適語選択)

アメリカに短期留学している日本人女子生徒がアメリカと日本との文化の違いを身近に体験する話です。空所1は熟語<ask 人 for 物>「人に物を要求する」の知識を問う問題です。空所3には「～の間に[の]」という意味になる前置詞の知識を問う問題ですが、空所3の直後が A and B の形になっていることから、between を選びます。空所5は「eメールを送る」となるように、send を選びます。

4 対話文完成問題

いずれも、対話文の前後を読んで、正解を選ぶ問題です。2はHow long～?「どのくらい(時間が)かかるか」に対する疑問文なので、ウの「約2時間半です。」が返答として適切です。

5 適語(句)[文]選択問題

2を除いて、対話文形式になっています。1のfishは単数形と複数形の両方に用いられる名詞ですが、後のBの返答から複数形と判断し、anyを選びます。anyは、疑問文では複数のあるかを問う場合に、否定文では「全く～ない」と強く否定するときに使うのが基本です。4のWould you like～?は、相手に「～はいかがですかと丁寧に物を勧める表現です。

6 整序英作文問題(不足語補充)

不足する1語を加えて書くところが正解と不正解の大きな分かれ目です。1は日本語の意味から、過去進行形の文になると判断し、複数形の主語に対応する過去のbe動詞wereを補います。2は未来形の文で、be able to～「～するつもりだ」のableを不足語として補います。3は4問中で一番の難問で、「彼女のこの時計」は所有代名詞hersを補い、this watch of hersとします。4は名詞的用法の不定詞が主語になる場合は単数扱いとなり、be動詞は現在形ではis、過去形はwasになることを覚えておきましょう。

7 語い問題(適語補充)

4問の中では、4のinstrument「楽器」が一番難しく、おそらく正答率も高くないと思われます。3のcalendar「カレンダー」に関しては、テストで出題するたびにcalenderなどというスペルミスが多く見られます。その他の「かさ」・「2月」・「外国の」はいずれもスペルを間違えやすい単語なので、間違えた単語は、今後はしっかりと書けるようにしましょう。

2024 第2回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【数学】

夏休み後の学習の習熟度を試す問題を出題しています。出題内容は、単項式と多項式の計算・式の利用・連立方程式の解法です。

1 計算問題（単項式の乗除、式の値、複雑な連立方程式）

(1)の計算では、逆数をつくる際に文字も分母に下ろせたか等を確認しています。(2)で式の値を求める際は、まず式を簡単にしてから代入しましょう。(3)と(4)は連立方程式です。 $A = B = C$ というタイプの連立方程式を分割して解く際は、どの組み合わせが計算しやすいか見極めることが大切です。(4)は一般的な加減法でも解けますが、係数は大きい而定数項は小さいタイプの連立方程式の解き方を知っていると圧倒的に有利です。

計算力は数学力の基礎の1つです。本番で早く正確に計算できるように、日々、問題の解き方を理解するだけでなく、正しい答えを得るまで実際に自力で計算して確かめることが大切です。

2 小問集合（連立方程式の利用、文字式による説明）

(1)・(3)は連立方程式を用いて算出します。(1)は y 軸に関して対称な2点の座標の関係が理解できているか、(3)は基本的な文章題を連立方程式を用いて解くことができるかを確認しています。(4)には、文字定数をふくむ2組の連立方程式が登場します。連立方程式を2回解く必要があるため、特に注意が必要な問題です。(2)は、文字式による説明の穴埋め問題です。2けたの整数や3の倍数を文字式で表す方法を知っているか、また、3でくり出す変形ができるかを確認しています。

3 平面図形（おうぎ形の面積）

(1)、(2)は基本的な求積問題として出題しました。計算できるおうぎ形の面積や三角形の面積の和や差として表せるように、様々な見方をしましょう。(3)では、 A のみの面積、 I のみの面積は分からなそうですが、差を求めることは可能です。同じ部分の面積をそれぞれに加えても両者の差が変わらないことに気づき、計算できる面積の差として表すことがカギになります。

4 食塩水の文章題（文字式の表し方，連立方程式の利用）

考え方は複数ありますが，食塩水にふくまれる食塩の質量や濃度について，丁寧に文字で表していきましょう。(2)(i)では，操作1の後のビーカーA内の食塩水の濃度ははじめの濃度から変わっていないことに気づけるか，さらに，できた等式を b について解くことができるかも確認しています。(2)(ii)は，「2つの食塩水の濃度の差の変化」という複雑な量を扱っています。ただ，操作2によってビーカーA内の食塩水の濃度が1%大きくなったことを言っているにすぎません。それに気づけるかが最大のポイントになっています。

5 空間図形（三角錐・正四面体・正八面体の体積）

(2)は，(1)をヒントとして立体Aから4つの三角形を取り除いた残りが立体イであることに気づけるかを試しています。また(3)は，立体Aから切り落とした三角錐8個を合わせると立体ウができることに気づけるかを試しています。正多面体どうしには他にも様々な関係があります。斜めに傾けたり回転させたりしても同じ立体だと気づけるように，立体を見る感覚を養ってほしいと考えています。

6 整数（文字式の利用，場合分け）

多くの受験生にとって初見の問題だと思います。このような場合は，まずは小さい具体的な n を考えて， $S(1)$ ， $S(2)$ ，……のように値を調べていくことが大切です。 n を増やしていく過程で， n から $n+1$ へ繰り上がりが発生しない（一の位が1増えるだけ）ならば $S(n+1) = S(n) + 1$ であること，繰り上がりが発生する（十の位が変わる）ならば $S(n+1) = S(n) - 8$ であることに気づければ理想的です。十の位より上の位も変わり，繰り上がりが発生するごとに $S(n)$ の値は8ずつ減少します。(1)での試行錯誤を通じて，繰り上がりや繰り下がりが本問の本質であると感じてほしいものです。(2)は，いくつかの具体例を考えると， $S(a) + S(b)$ のとりうる値が14と23であることがわかってしまうかもしれません。しかしながら，単にそれを解答用紙に記すだけでなく，(1)をヒントに，一の位から十の位に繰り上がりがある場合とない2つの場合に分けて考えればよいと自信をもって答えられた生徒が，真に本問に正解できたことになります。(2)の場合分けが理解できたという前提で，それを応用して，繰り下がりの有無によって(3)の場合分けをすることに気づければ最良です。

2024 第2回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【国語】

二年生の夏休み期間までに身についた、漢字や文法などの基本的な事項を把握しているか、論説文や小説文などの文章を読み解く力が身についているかを確認する内容となっています。基本から応用の幅広いレベルの読解・記述・文法問題を出题しました。二学期以降の学習モチベーションを上げることにも適切なテストになっています。

目標点は50～55点。

㊦ 漢字の読み書き

現代文読解の力と大きく関わる「国語の基礎力」の確認です。とっさに書きにくい漢字の書き取りと読み間違いやすい漢字の読みを出题しています。(1)「徐行」の「ジョ」・(4)「譲歩」の「ジョウ」のような紛らわしい字に注意しましょう。

㊦ 論説文の読解…………… 榎本博明『「過剰反応」社会の悪夢』

心理学者である筆者が「過剰反応社会」について述べた文章です。現代は、思いがけないことでクレームが来て、過剰反応と思いつつそれに対応していると、何をしても「誰かからのネガティブな反応」を心配しなくてはならなくなってしまう時代だと筆者は述べています。その「過剰反応社会」の原因として「マスコミ」や「ゲーム」などを取り上げている部分を採用しました。現代の身近な話題であるだけに、自分自身も関わる問題として考えてほしいと出题しました。問一・問五は文脈をしっかりとどっていけば解けるでしょう。問六は内容をしっかり理解しているかどうか問われます。

㊦ 小説文の読解…………… 大崎善生『ひと粒の宇宙』より「神様捜索隊」

作者は戦後生まれの現代の作家ですが、病気のために今年66歳の生涯を閉じました。本作は、平凡な日常を送る人々の、「神様」のような目に見えない、見つけにくいものを捜すという行動を通して、当事者やそれを取り巻く人々が大切なものの存在に気づいていく、という話です。現代生活を描いた読みやすい文章なので、ざっと読んでしまいがちですが、表現技法や慣用句などの語句の知識を確かめつつ丁寧に読み取って、会話なども手がかりにして登場人物の関係や心情をつかんでいきましょう。

四 文法

品詞分類の問題。それぞれの品詞がどのような役割を持っているのか、基本的な文法事項が身についているかを確認することがねらいです。③のような形容詞か連体詞かを区別する問題や⑥の「ない」の識別（形容詞か助動詞かを区別する）紛らわしい問題は、頻出なので特に気をつけましょう。